



きしだ りゅうせい
岸田劉生

エーのしょうぞう
《Aの肖像》 1913年 油彩・キャンバス 45.5×37.9cm

この絵は作家の友人を描いたもの。画面に記された1913は描かれた年ですから、100年以上も前のものです。でも、少しはにかんだ様な微妙な表情は、現代人にも共通するものですね。岸田劉生は、大正時代を代表する油彩画家。表面的な美しさよりも、内面的な美を追求したことで知られています。この作品では、親しい友人がふとみせた、複雑な心理を表す表情を瞬間的にとらえています。皆さんにはこの表情、どう見えますか？

- 1891年 東京に生まれる。
- 1908年 葵橋洋画研究所に学ぶ。
- 1915年 木村荘八、中川一政らと草土社結成。
- 1917年 藤沢に転居。
西洋古典美術を経て東洋の古典に学び独自の写実を追求。
- 1923年 関東大震災を機に京都に転居。
- 1926年 鎌倉に転居。
- 1929年 旅行中の山口で没。享年 38。